

2021年4月1日発行(毎月1回・1日発行)第547号 平成3年7月24日第3種郵便物認可

あいよかけよ

konkokyo

April 2021 No.547 | 4

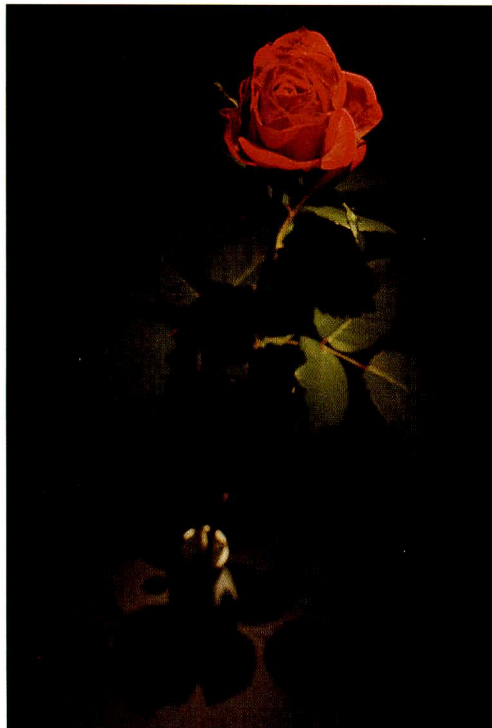


徳島県教会連合会青年部が「みかん狩り」を行いました。

- 道を求める人：信心継承は和合の精神と家族への感謝から 酒井輝明さん、和明さん父子に聞く
- 信心教室：活弁士による無声映画『性は善』上映会① 金光英子先生（ご霊地）

こころのひだまり

見えるものを見る
見えないものを見る
見る力を鍛える
観る力を鍛える





おかげばなしをする自分

若い時、いろいろところで『お話』を聞いたとき「また、おかげ話か」「そんな奇跡みたいなことがあるかな」とよく思っていた。

子供の時から好きなボーイスカウトをさせてもらい、高校も電気科で学んだ。ただ卒業した時に自分が何をやりたいかわからず、一年半アルバイトをしていた時に、偶然今の会社の中途採用ポスターを見て就職し、何百人いるなかで、十数人という特殊な電力系の職場に配属になり、それが一生の仕事になった。

上司、先輩に助けられ国家、公的、社内資格を色々取得、働きながら大学も卒業できた。定年退職時に若手育成、技術継承でシニアマイスターとして5年延長、そして昨年プロフェッショナル契約社員として、再延長。若い時から災害派遣の一番手として被災地に入り復旧活動していると、きも、神様に守られていると感じていた。

いままで、大怪我、大病もせず好きな仕事をし、順風満帆できた。これ自体が奇跡なのか。今、人生の色々な場面で「あれもおかげやった、これもおかげやった」と思うことが多い。最近、人と話しているときに「うわー、今、自分がおかげ話をしている」と思うことがある。

もう、これは神様にお礼返しをしなれば。

勝見嘉彦（金光教東九条教会・京都）

[布教実践項目] (神人あいよかけよの生活運動の実践)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 家族そろって教会参拝につとめます。 | 1. 今を喜び笑顔になる「けいこ」をします。 |
| 1. 人の助かりを願う信心に取り組みます。 | 1. 何事も実意丁寧に行います。 |



酒井輝明さん
TERUAKI SAKAI

酒井和明さん
KAZUAKI SAKAI

(金光教亀有教会・東京都)



パソコンの画面から、酒井輝明さん(右)と酒井和明さん(左)。

「信心継承は、和合の精神と家族への感謝から」 酒井さん父子にお聞きしました

現在の金光教にとって重要な課題の一つとして、信心継承の問題がある。信心の稽古と御用に熱心に励む人が、他の人、特に家族にうまく信仰を伝えられず、神様が喜ばれる家族勢信心や信心継承ができずに、悩んだり寂しい思いをしたりしている例は少なくない。この問題解決の一助になることを願って、現在、金光教亀有教会(東京都)で御取次を頂きながら、親から子への信心継承、家族勢信心の信心生活を実践しておられる、父・酒井輝明さん(86歳)、長男和明さん(54歳)父子のお話を伺った。今回は、コロナ禍の中ということで、東京(練馬区、日野市)、神奈川(葉山)、茨城(日立)をリモートでつなぎ、パソコンのビデオ会議機能を使って取材させていただいた。

■ 取材:取材:山本朝男・高井瑠美

長年、金光教東京都教会連合会（以下、「都連」）で関東教区信徒会等の御用一筋に活躍されておられた酒井輝明さんは、4年前に心筋梗塞で九死に一生を得て以来、現在、練馬区のご自宅で、奥様の24時間介護を中心とした家事全般をこなす日々で、感謝と喜びに満ちた生活を送っておられる。教会参拝などの折にはご長男（和明さん）家族に付き添ってもらいつつ、生活の場では近くに住むご次男（大学教授、工学博士）家族に助けってもらいながら、お孫さんとの交流も楽しんでおられるという。

輝明さん（父）…「家内を中心にした生活をしています。そのために五感を働かせていただき、自分自身のリハビリにもなっております。人のことを中心にした暮らしにより自分が助かり、生かされるという人生の集大成をさせていただいている実感があります」。

人のお役に立ちたい、
だれかを助けたい

一方、ご長男の酒井和明氏（製薬会社の研究者、薬学博士）は日野市で、新薬開発の多忙な仕事の中で、奥様と共に金光教の信心を進め、亀有教会の信徒総代の御用に当たっておられる。また、専門を生かして、「現代の心の病



に信仰はどう関われるか」という課題にも取り組んでおられる。

和明さん（子）…「信心・信仰の枠に拘わらず、少しでも多くの人のお役に立ちたい、だれかを助けたいという思いから、医薬の仕事に就きました。仕事でも信心でも、全体を見渡し、一隅を照らし、あまねくすべての救済が理想にあることを忘れないように、曇りなき眼でよく見ることを心掛けております。人力ではできるはずがないので、何事も天地日月の肌感覚を見失わないようにするための信心でもあります」。

祖父の代からの
信心とご神縁

輝明さんの信心は、祖父母が大分県佐伯市で金光教のご神縁をいただかれたのが始まり。大分で生まれ、物心つく前に大阪に移住した。が、7歳の時に宮崎県に

戦時疎開。ご両親は山仕事をしながら、大淀教会で金光教の信心を続けていた。この頃から敗戦に至るまでの間、金光教団は信徒数が半減したが、その状況の中で「親が信心をつないでくれたから、今の私がある」と輝明さんは語る。

中学生の頃には一人で教会に参拝するようになり、今思えば「天地の間に生かされて生きている」ことや「家業の行」など教祖様のみ教えに触れるきっかけとなった。それを励みに、幼いころに培われた「人の役に立ちたい」という思いを強くしながら両親とともに山仕事に精を出されたという。その後輝明さんは18歳で宮崎を離れ、単身大阪に出て運送会社就職。野田教会で当時学院を出られたばかりの同い年の若先生（昨年11月ご帰幽）と一緒に青年会やボーイスカウトなどの活動に取り組みようになった。ほどなく新潟に転勤となり、長岡教

会にご神縁をいただいて、朝参りを続けながら仕事に勤しんだ。長岡教会は輝明さんにとって信心の稽古場であると同時に家族のような存在であった。今の奥様と結婚されて独立し、事務機を商う会社を設立した後、ようやく二男を授かる。

世は高度経済成長最後の昭和40年代後半で東京に出たのを機に、長岡教会の先生のご紹介で芝教会に参拝されるようになった。

輝明さん（父）…「長らく大場先生（先代芝教会長）のカバン持ちのようなことをさせて頂き、その後、自宅に最寄りの練馬教会、そして今は亀有教会にお引き寄せいただいておりますが、すべて長岡教会の先生の御取次、紹介をいただいでのことです。いろいろな教会に参拝させていただきましたが、その都度、信心をお育ていただいでいております。今は信心の集大成として、亀有教会で和賀

心のご理解を教導いただき、『世話になるすべてに礼を言う心』を育てるという目標をもって信心に邁進しています」。

母の一言で — 家族の絆と母親の役割

和明さん（子）…「母は父と結婚してから信心を始めましたが、その母から自宅の神棚の神様に手を合わせなさいと教えられました。その頃から日めくりのみ教えを読むのが楽しみでした。ある時、母から『これから小学校に上がるのだから拝詞集くらい暗記しなさい』と勧められ、当時の天津祝詞から始まる拝詞を覚え始めました。初めて拝詞集を通読した時、どんなご教話も天地書附だけで話がつくのではないかと感じました。以来、漠然と天地書附の素晴らしさを感じ、これだけで世界中の人々を幸せにできるのではないかと考えるようになりました

た。それが今の私の信心のきつかけだったように思います」。

「親から信心継承されたという自覚はありませんが、親の信心を土台として信心がスタートしてきたことのアドバンテージに感謝しています。同じ神様でも、母や科学者である私の信じ方や取り組みは父とは違っていると思います。昔から父の信心をみて、『そりや違うだろう』と思うことは多々ありましたが、父も私も家族としてお互いの信心を尊重し、信心はあくまで共通の話題の一つでした。それに信心は競うものでも押し付けるものでもありません。ただ、最近ようやく父の信心のありがたさが分かってきた気がします」。

その後、輝明さん46歳のときに会社は倒産。しかしそれを機に都連の御用に打ち込むようになり、首都圏布教100年に向けて『祈りのカード』などの活動に

信徒会として率先して取り組まれた。

輝明さん(父)・・・その間、家族には大変迷惑をかけました。ある時は家族全員で清掃業をしながら生活していた中でも、都連の御用のあとで好きな御神酒をいただいては、一人職場に遅れて現れる「ダメおやじ」でしたが、家族で黙々と協力して苦しい時代を乗り越えることができたのが本当にありがたかったです。なによりその「ダメおやじ」が、今、家族にとってお役に立つ親父になっているということがありがたいです」。

『パパがいればごきげん』ヨエ記



ヨエ(母) 和明(13才) 哲也(7才) 輝明(父)

和明さん(子)・・・「私が社会人になつてからも、家は借金返済など日々の生活に追われる日々でした。そんな中、うちの家族は皆、口は悪いですが喧嘩した記憶はありません。何よりのおかげは、家族がみな仲良く愛情というか絆が深く、お互いを必ず思いやるところでしょいか」。

輝明さん(父)・・・「教会参拝や御用ができるのは、家族が理解し、支えてくれるからできるのだと思っています。その家族にお礼を言う心が肝要です。家族から参拝や御用に対して苦情が出るなら、自らを改めるべきであり、改めることで信心が進みます。家族が師匠です」。

「子ども達は、私を支えてくれている家内である母親の姿をよく見ています。母親が神様を大切に思い、信心する姿をみて、子どもに信心の芽が育つてゆくように思います」。

信心継承は

あきらめずに

輝明さん(父)・・・「信心の継承とは教会に参拝することと鑄型にはめるようにこだわって欲しくありません。家族に教祖様の信心がそれぞれの形で伝わって、神様と人のお役に立とうと願う中でのお働きを大切にして欲しい。息子たちが本当に社会のお役に立つ仕事を地道にしていれば神様が光を当ててくださるということを実感しています。息子たちの仕事のやり方を見ているとそこに教祖様のみ教えが息づき、信心が伝わっていることを感じるのです」。

「会合などで信心継承の話になると『難しいね。必要だよね。』で終わってしまっているように思うのです。それで終わるのではなくて、自分の信心の姿を通して、信心を伝えたい相手(家族や人)はどう感じるか。『あの人は幸せそ

うだな、楽しそうだな、一緒にいると心地よいな。どんな考え方や心持でいれば自分もそんな風になれるのかな』と思えた時に、自然と伝わる道が開けてくると思うのです。自分がどう変わればその人達に信心が伝わるのかを考えることが出発点です。子どもは自分の子ではなくて神様の氏子、親が子どもを拜むこと。信心継承の問題は、あきらめずに、あらゆる角度から検討し、何がネックになっているかを見つけて、そこにメスを入れなければならないと思います」。

「信心継承のために、教会と家庭、親と子、それぞれ『対立』構造のように話されることがありますが、『対立』にとらえず『和合』(区別されずに一つに寄り合うこと)で表すことが肝要だと思っています。信徒会は教会の行事をするための御用だけではなく、本当に人が助かるための御用をすべきです。信者ならではの御用、

◆糖尿病◆内分泌疾患専門

医療法人 江草玄士クリニック

医学博士 江草玄士

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀12番4号 八丁堀わかばビル

TEL:082-511-2666 FAX:082-511-2665



患者さんの
長寿を目指して

たとえば参拝しなくなった信徒がふと思いついた時に教会に足を運べるような有形無形の雰囲気醸成も信徒の御用だと、私は考えています」。

人に寄り添い、

親子で対話する

和明さん(子)・・・「親子とはズレますが、信心がお役に立ちそうな時に、信心を他人に伝えたい時には、難儀な人に手を差し伸べるといふより、避けも近づき過ぎもせず、相手の心地よい距離感でいられるようにしながら話を聞くようにしています。金光教とか神様の話を出すと敬遠されるような場合は、浄土真宗の親鸞や暁鳥敏(あけがらす・はや)などの著作から一般に認知されているものを引用して話をしながら、あくまでも『寄り添う』ことを心掛け、まずは関係性の構築を大切にしていきます」。

「信心の継承についても、距離感」が大事だと思います。まずは家族であるということ。家庭によつて様々ですが、安心できる距離感が構築されていないと始まりません。その上で、教団、教会、信徒が関わってくるのではないのでしょうか。子供の頃に親に引つ張つてこられた教会で仲間を見つけて活動ができればいいのですが、そうはいかないこともあります。押し付けずに、教会や信徒が、自然な居場所を作つてあげると配慮も大事だと思います。父が子供の頃、一人でも教会に参ろうと思つたようになつたように」。

輝明さん(父)・・・「今は、次男の家族との交流を通して、今や人の子を教える立場となつた次男と過去の出来事を振り返り、あの時こういうおかげを頂いたよねと対話する中で、ようやく信心を伝える自然な流れをいただけたと思つています」。

心と身体にやさしい内視鏡検査を求めて

医療法人 沖胃腸科クリニック

医学博士 沖 眞

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀8番26号 メール八丁堀2F

TEL:082-223-0303 FAX:082-221-5292

家族でおかげを頂く

難はみかげ

花本 芳明（金光教御所教会・奈良）

私の田舎は奈良県の吉野の山奥です。62年前の伊勢湾台風で大きな被害を蒙り、それから治水工事を兼ねた総合ダムが計画、建設されました。多くの家が水没し転居となり、その大半は吉野を出て行きました。私の家は山の中腹に有ったので、幸運にも水没は免れ残りました。

ダムは「大滝ダム」と言って巨大ダムです。

これで安心と思っていましたが、水を貯めると村に地割れが発生しました。地下水が影響している様で、このままでは地滑りが起きて、大きな災害になるとの事です。採めに採めましたが、結局、全戸移転する事になりました。約1／3が地元、1／3は他の市に神社やお寺と共に移転しました。残り1／3は夫々の都合で各地に移転しまし

た。我が家は私が住んでいた生駒市に、家を建てて2005年に移転しました。

元々、田舎には祖母と母が住んでいて、祖母は100歳になっていました。母は街への移転は強く嫌がっていました。この時、家族みな国がいい加減さに憤慨し、移転を悔しがっていました。田舎が無くなるからです。

しかし、これが幸運な事でした。母は老々介護で疲れ果てていて、祖母・母共に病気になるていました。移転により祖母を私の家に呼び寄せた為、病院や介護施設も手軽に入れる様になりました。母も介護から解放され、自分の好きな事が出来るようになりました。

今では暮も近くに移転して、新しい便利な街で、健やかな暮しのおかげを頂いています。

税理士法人 C D A



〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目1番14号 KDX北浜ビル9階
TEL 06-6201-1403 FAX 06-6201-1405

【HP】 <http://www.cda-tax.com/>

カラッと乾いた洗濯物

中谷 智美（金光教五十鈴川教会・三重）

色々な場面で、いくつもの出来事で、「幸せを感じることに」「幸せを感じる時」はたくさんあります。その中でどの瞬間を切り取るかと考えてみました。

私にとって、『気持ちよく乾いた洗濯物を取り込む時』この瞬間が、幸せで嬉しいと思える第一番なのです。日々の生活で、普通にこなしている動作のひとつではありますが、洗濯物が乾くまでの過程を見ると、先ず、我が家に洗濯機ある。電気が繋がっている。水道栓からきれいな水が出てくる。その機械を操作できる。機械が順調に機嫌よく働いてくれる。洗い終わった洗濯物を太陽の日差しを受けた場所に干せる。そして、ゆっくり乾いていく時間が過ぎた。そ

の一連の流れに神様のお働きを実感します。

正直に言えば、「洗濯しなければならぬなあ」「今日はお天気が良くないなあ」と思う日もあります。それでも、気持ちよく乾いた洗濯物を手にしたとき、「神様ありがとうございます。」「ありがとうございます。」といつもつぶやいています。

今、新型コロナウイルスの感染拡大により、生活様式が変化しています。これまでの当たり前ではない日常の中において、すべてが天地の神様のお働きの元に生かされて在る命の尊さを感じる瞬間です。



ほんものの良さをとおとどけする



キモノ帯・和装小物 総合メーカー
となみ織物 株式会社

京都市上京区寺ノ内通堀川西入 Tel : 075-431-3301

www.kyo-tonami.com

信心室 教

〔第五十講 一時限〕

『性は善』できるはずなき上映の日を迎へたりありがたきかな

映画あり 研究者いて 脚本家 カツベン 楽士 みな揃ひたり

あまたなるご縁賜はり 今日の日 に無声映画の上映かなふ

感染のなきこと 祈る上映会 おおみかげ受けここに開催

神様が下さるものをありがたく受けさせたまへにちにちがさら



活弁士による無声映画

『性は善』上映会

2020年11月21日(土)、岡

山市天神山プラザで開催された

岡山映画祭の中で、活弁士による

無声映画『性は善』が上映され

た。映画のテーマは金光教の教祖

様の御理解八節「子供の中に層の

子があればそれが可愛いのが親の

心じゃ 無信心者ほど神は可愛い

信心しておかげを受けて呉れ

よ」である。岡山県の映画人や俳

優の八名信夫さんはじめ多くの方

が、この映画を見て下さったのであ

る。天神山プラザは元の岡山県総

合文化センターであり、四代金光

様もその創立に尽力なさった所で

ある。中には大阪からかけつけた

金光教の先生のお姿も見られた。



金光 英子 先生

Hidako Koinko

(ご霊地)

コロナ禍の中では大盛況と言って
よいだろう。

その一週間前の11月14日(土)に
はこの無声映画『性は善』が、やつ
なみホールで上映された。私は、こ
れらのすべてのこと言葉にでき
ないほどの感動を覚えた。

この映画は、大正13(1924)
年に、元帝国キネマ撮影所長であ
り、金光教の信奉者である川口吉
太郎氏によって制作されたもので
ある。川口氏は「御神徳を蒙り心
機二転して、道の御用に何かさして
頂きたし」との思いから、大教会所
参拝帰途に車中で聞かされた靈験
談からヒントを得て活動写真に

し、一般信者に提供しようと制作したという。映画の出演者はすべて金光教の信者さんであったという。

物語は、スリを生業とする「およし」という女性が主人公である。その「およし」が、大阪から出発した汽車の中で、男のふところから大金をすりとり。そして金光で多くの人が降りるのを見て、もう一仕事できるかと金光駅で降り、人に親切にしているさまざまの人々と出会い、自分の神心を取り戻していくというお話である。



いくつもの考えられない奇跡的な出会いと関係者の努力が重なって、このような上映会が開催されることになった。いや、神様の後押しがあったと思えてならないのである。

◆ 夫婦活弁士むっちゃん・かつちゃんとの出会い

倉敷には、倉敷学という講座がある。倉敷のことを知りたい人に月に一回のペースで講演会を行っている講座である。その倉敷学で小



野光右衛門について講演をするように依頼された。倉敷の公民館で、金光教の教祖様の手習いの師で大谷村の庄屋でもあった小野光右衛門の講演をおこなったのである。2018(平成30)年5月9日のことであった。その講演会も無事に終わり閉会の時、次回の講演は無声映画の上演とアナウンスがあった。チラシをよく見ると、「夫婦活弁士むっちゃん・かつちゃんによる無声映画『豪傑地雷屋』上映会」とのこと。



「えっ！活弁士ですって！」私は、
心臓が口からとびだしそうになる
ほど驚いた。

大正13年の無声映画が見つかり、
曲がりなりにも脚本もでき
そうだけれど、ここからどうした
ものか、活弁士なんて夢のまた
夢、どうやって探したらいいのか見
当もつかないなんて考えていた私
の目に、活弁士の文字が飛び込ん
できたのである。なんとという偶
然、なんとという巡り合わせであら
う。こんな近くに活弁士がいたな
んて！

そんなこんなで、倉敷学の講座
の「豪傑児雷也」で活弁をなさつ
たむっちゃん・かつちゃんこと矢吹
勝利・むつみ御夫妻とのご縁がで
きたのである。倉敷学の講演会が
一回でもずれていけば、この出会いは
なかったかもしれない。

しかし、活弁士がいても、大正
13年の金光が舞台であるのみなら

ず、テーマが金光教の教祖様のご
理解八節なのである。宗教色があ
ると敬遠されはしないかが気がか
りであった。その心配はお目にか
かっていたべんにとんでしまった。そ
れは矢吹さんの一言であった。「私
の弟は金光教の信者です。そのご
縁で、九州の教会で活弁をさせて
いただいたことがあるぐらいです
から」とのこと。

その上楽士まで紹介して下さい
た。その方は、野原直子さんとおつ
しやるシネマライブで楽士をなさつ
た経験をお持ちで、矢吹ご夫妻
が、最も信頼する楽士であった。

活弁士とのことだけでも、不
思議なご縁があったのである。その
他にも映画人はじめ研究者・脚本
作者など、多くのご縁があつて上
映会は開催できたのである。多く
の方々へお礼を申し上げてももう
しきれないと思っている。

(つづく)

葬儀のトータルアドバイザー



株式会社 はなせ

HANASE Co., LTD

TEL:06-6488-0042 FAX:06-6488-0142

〒660-0814 兵庫県尼崎市杭瀬本町1丁目8番13号



金光教関東教区信徒会

「首都圏女性の集い」を開催

(報告者…阪本正雄・江川和子)



【QRコード】

「女性の集い」での松本峰子先生の講演を聴くことができます。

関東教区信徒会では、毎年、首都圏「女性の集い」を開催しているが、第27回を数える今年の「集い」は、講師に松本峰子先生（浦和教会・埼玉県）をお迎えし、「コロナ下だからこそ、やわらかなる金光教を！」と題して講演を聞いた。

会場となった金光教センタービル（東京都文京区）には、新型コロナウイルスの緊急事態宣言下であり、講師と教区信徒会委員が集い、手指消毒や検温などの感染症対策を取り、YouTubeによる講演の生配信を行った。初めて取り組むオンライン生配信でしたが、今後の新しい集会のあり方の第一歩になったように感じている。以下、講演の要旨を紹介する。

■ 学舎としての広前

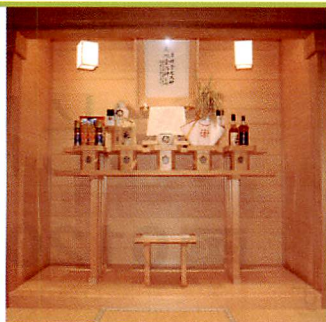
在籍教会で取り組む「絵本の会」には、祈る必要もなければ、お結界で話す気もないが、教会には行く、そんな若い人が集まってくる。絵本の多様な物語を通して、きれいなことばかりでない、理不尽、残酷、人間の底意地の悪さなど、人間の性（さが）と倫理、道徳を超えた世界を読み取っていく。結婚、子育てを経験する中で、み教えの背後にある世界も理解できるようになり、神様へ目が向いて、お結界への道が広がってきた。

■ 祈り

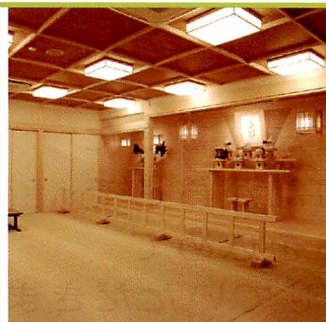
家族こそ難儀のるつぼ。平和は降っては来ない、個々が作っている



金光大阪中学校・高校のお広前



金光藤蔭高校のお広前



金光八尾中学校・高校のお広前

学校法人
関西金光学園

こころを育む
教育の場



関西福祉大学
金光藤蔭高等学校
金光大阪中学校・高等学校
金光八尾中学校・高等学校



くもの。信心は家庭が練習帳と
 言われる所以だ。「折り合いをつ
 ける」関係は、神様が間に立つこ
 とで、偏を変えた「折り合う」世
 界に変わっていく。祈りは冷たい
 関係の壁も乗り越えさせ、死ん
 だ後も世代を超えて働く最強の
 コミュニケーションツール。教会の
 先生はその「祈りの生き証人」
 なのだ。

■ 結果取次

お結果は改まりを生み出す場
 所。私の強さが聞く耳をふさぐ。
 人から言葉を投げかけられた時、
 その言葉を受け止める力がとて
 も大切。長男からの「なんであな
 たは変わろうとしないのか」とい
 う言葉に、「逃げる視線、立ち向か
 う視線、折る視線、私はどの視線
 を持つのか」、「逃げる言葉、立ち
 向かう言葉、折る言葉、私はどの
 言葉を持つのか」を問われた。

■ み教え

み教えは我情我欲の塊を溶か
 して改まりを促してくれる。み教
 えを生かす働きをしていかねばな
 らない。乳がんをいただいたこと
 で「おかげは和賀心にあり」の言葉
 が私のナチュラルキラー細胞であ
 ることに気づかされた。

■ 世界は広う考えておれ

小さなことへのこだわりで、その

お客様に最高の満足をして頂くことを目指す買取専門店です

大切にされてきた
 お品物だからこそ
 真心を込めて

お取り扱いさせていただきます

 光陽商事

カメラ・周辺機器 ブランド品 腕時計 貴金属・宝石

 0120-00-6620

営業時間 10:00～18:00 (毎週月曜定休)

〒160-0017 東京都新宿区左門町 13-5 左門町パクスビル 3F

<http://koyo.co.jp/>

ことの中に神様が入る隙間がなくなってしまう。私は何度我が子の中の神様を殺してきたことか。その人の心の中にある神様を引き出し、生かしていくのが信心する人の役割。生きて働く神様なのだ。たくさんの難儀を受けながらも凝り固まらぬ世界を楽しむ父とのやりとりから信心の楽しさを学ぶ。

■ 人間の存在とは

現代は「お役に立つ」という言葉が生きづらさを招いてしまう時代。義父、実父の「お役に立たない」生き方、「迷惑をかける」生き方に、神様の「真意」を見る。

■ まとめ

父は「物事の本質を見抜く力を頂け」と言っていた。信心は気づく力と改まる力を与えて下さる。命の長短に関わらず、またどんな生き方をしてこようと、その

人が存在する、あるいは存在したことへの尊厳を思う。そしてその存在に対し、祈りの視線を持って見ることが出来ていければ、と思う。せつかく生きて働く神様を頂いている私たちが、自分の中の神様を生かせずにいたら申し訳ない。コロナ下で様々な制限がなされているが、せめて心は縮こまらず、柔らかで広く深く豊かである信心の世界を求めていきたい。

(以上)



株式会社

**大里
印刷
センター**

書籍・出版物印刷

ダイレクト・オフセット印刷

その他全般

☎ 092-611-3118

FAX 092-629-2715

E-mail osato.p.c@clock.ocn.ne.jp

〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町12-29

感染防止対策の中で「みかん狩り」

徳島県教会連合会青年部では、昨年12月に「みかん狩り」を行いました。

昨年来のコロナ禍で、教会や連合会の行事もほとんど実施できない状況となりました。そのような中で、信奉者の方が所有するみかん園をみかん狩りに提供してくれるという申し出があり、感染防止対策を十分行つたうえで開催することとしました。

開催当日は雨も降らず、また寒すぎることもなく、よい天候に恵まれ、県内の5教会から計20名の参加がありました。参加者は開会式の後、みかん園まで徒歩で移動。みかん園には山の斜面にみかんの木がたくさん生えており、大きくてきれいな色の実がたくさんなっていました。

参加者は手にハサミを持ち、自

分でみかんを切り、その場でいただきました。摘みたてのみかんはとても甘くジューシーでした。また、希望者は格安で持ち帰ることもでき、段ボール箱にみかんをいっぱい入れていました。

いろいろな行事が中止になり、楽しいことができない中で、短い時間でしたが気分転換を行うことができました。

終了後、徒歩で集合場所まで戻り、みかん園にお礼申し閉会式を行い解散しました。おかげをいただいて、けが人や体調が悪くなった人が出ることもなく、万事無事に終わることができました。

私達は当日収穫するだけでしたが、栽培している人は、1年間通して除草や農薬の散布など多くの手入れを行ってくれているはず。そのような日々の苦労の結果とし

て、美味しいみかんをいただくことができました。参加者全員が天地の恵みをいただけるありがたみを感じることができたと思います。また、仕事や学業、付き合いなどが今までどおりできなくなり、これまで当たり前でできていたことが、ありがたかったことなだと気づかされました。

各教会の先生方におかれましては、感染終息のため毎日お祈り添えただいており、本当にありがたい限りです。一日も早く元通りの生活が戻ることを願っております。



この街で心の通うおつきあい

チャイナハウス
すげく

[本部] 松山市平井町3167-1 TEL 089-970-7511

吉備店 / 東石井店 / 11号平井店 / 東本店 / 小栗店 / 星原店 / 上福岡店

備前名物

大手まんぢゅう

一口ほおばればよみがえる —— 懐かしい故郷の風景。 ——
いつまでも変わらない美味しさ、造り手の思い。

創業天保8年(1837年)

大手饅頭伊部屋

本店 / 岡山市北区京橋町8-2 電話(086)225-3836
雄町工場店 / 岡山市中区雄町201-1 電話(086)279-3688
<http://www.ohtemanjyu.co.jp/> インターネットショップでもお求めいただけます。

HOUSE SUPPORT

Refresh!

建具店のリフォーム

個性ある住まいづくり
豊かな表情の空間創造
安心と安全を築くゆとりの空間

142-0043 東京都品川区二葉4丁目3番6号

株式会社 太 明

代表取締役 太田 明
E-mail akira-o@bd5.so-net.ne.jp

☎ 03-3781-1595
FAX 03-3785-5530

やつなみの心を研ぎ 現わす
—— 道の友のつどい ——

やつなみ友愛クラブ

昭和53年発足 平成28年新発足
—— 皆様の入会をお待ちしています ——
年会費 3,000円

会 長：才田 孝夫
事務局：井倉孫二郎 090-8225-1928

空調衛生設備設計・施工

杉山設備株式会社

代表取締役 杉山 直也

URL <http://www.amigo2.ne.jp/~sse/>

☎ 0596-28-5052 (代)

三重県伊勢市宮川1丁目13-12 〒516-0067
FAX:0596-23-4937 E-mail:sse@amigo2.ne.jp

株式会社 三 福

☎ 092-575-3711 (代)

直通 092-575-4431 FAX 092-575-4377

福岡県福岡市博多区諸岡3丁目22番21号 〒812-0894
代表取締役 高橋 定利 (輔教)

あ

い
か
け

■ あいかけ

B級おもしろ

川柳【第四十回】



選者：藤井喜代秀先生（ご霊地）

コロナ禍の 花見黙って 見て帰る

雑草の 生きざま 不器用でもいいさ

一つ老いて 春の星座と 再開す

敷田無煙（福岡県）

初恋の 人の頭は ハゲ頭

施設でも ハゲ頭音頭 踊り出す

老いらくの 恋の噂や まんじゅしやげ

ああ快快（福岡県）

ボケてなお 貸金だけは 覚えてる

垂れて来た 元に戻らぬ 乳と尻

温かい ご飯に負けた ダイエット

福岡ボンタ（福岡県）

コロナ禍で 肩身のせまい せきくしゃみ

ここにきて 主夫がいたかと 知らしめて

ひよこ（神奈川県）

マスク取る イメージ違うと イジラれる

二重アゴ 二重マスクで 隠してる

「あほちゃうか」 褒められているのか ダメ出しか

はなちゃん（奈良県）

災害は 忘れなくても 再度来た

人生も くもりのち雨 明日来る

めでたい男（兵庫県）

進級で 不安と学年 があります

ライオン丸（山口県）

漏れるなら 漏れてみよとの 紙おむつ

ありがたし 湯たんぽ抱いて 夢路へと

成田のじいさん（千葉県）

痩せましよう ふつくらさんに 微笑まれ

見るだけの チョコの売り場に 足が向く

シッカリと 姿勢正すも 歪む文字

おめでとう 見栄張りすぎた のし袋

光子（広島県）

つり革も 手すりも持たず 必死立ち

スパーに 入るも出るも ワンプッシュ

ミルクパーパー（大阪府）

六の道



連載

第百二十一回

【選者のつぶやき】

「あいかけ川柳」も有り難いことに、次第に浸透し、投句者も増えてきました。先ずは御礼申し上げます。その中で、お願いにご注意を2、3したいと思います。

① 投句は、毎月10日頃の締め切りとなっているので、早めに送信して下さい。

(都合によっては次号となります)

② ファックス送信の場合、間違わず読めるように強めてはつきり書き、送信して下さい。

③ ペンネームは短く、一定のものにして下さい。掲載は、ペンネームを主としています。

その場合、本名の、下の名のみとするのも可ですが、ご自身で、その旨明示して下さい。

※掲載される楽しみを味わっていただくためにも、間違いの起こらないように、ご協力お願いします。

■ 送り先

〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷320 FAX 0865-42-4870

金光教全国信徒会事務局「川柳係」

| シリーズ名 | タイトル | 制作(執筆) | 放送局 |
|----------|--------------|--------------|------------|
| | | | 朝日【午前5:40】 |
| 「ピックアップ」 | 僕と手をつないで | 岡美栄子(徳島・徳島南) | 4日 |
| | 神様がくださった木 | 高阪有人(滋賀・大津) | 11日 |
| | パニックさん、ありがとう | 金光教放送センター | 18日 |
| | 摂食障害を乗り越えて | 木村栄子(徳島・佐古) | 25日 |

お知らせ

4月からは「朝日放送」1局のみでの放送となります。

放送内容は引続き、放送センターホームページなど以下の方法で放送後の音声をお楽しみいただくことができます。

放送センターホームページ「[ここで聴くおはなし](http://www.konkokyo.or.jp/radio/index.html)」 *番組冊子「金光教の声」を無料でダウンロードできます。

<http://www.konkokyo.or.jp/radio/index.html> 右のQRコードもご利用ください。



放送センターHP



ポッドキャスト



金光教HP

「あいよかけよ」誌は読者のご参加を募っています

投稿原稿

信心、おかげ、信心継承など。川柳、エッセイ。教区、連合会、教会での信徒活動の報告。

テーマは自由。写真があれば添えてください。5〜600字を目途に。

※原稿、情報のアテ先は、編集室：mimichan-3017@bca.bai.ne.jp あるいは全国信徒会事務局まで。随時受け付けております。採用の分には図書券など進呈させていただきます。

取材先の情報
新企画の提案

取材先として相応しいと思われる教会、人物の紹介。新企画などのご提案。

表紙モデル

老若男女、自薦他薦を問わず、「あいよかけよ」誌の表紙にご登場いただける方を募集。

発行者

金光教全国信徒会

〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷320

電話(0865)42-4870 / 090-7995-6639

委員長 太田 明

編集

編集長 山本 徹

mimichan-3017@bca.bai.ne.jp

印刷 株式会社 大里印刷センター

編集雑記帳

暖かくなりました。我が家の猫たちも、ちょっと前までは何が何でも人が寝ている布団に入ってきたのですが、このところ、必ずしもそうではなくなってきました。もう冬は過ぎたんですね。■近所の公園の桜は、今はちらほらですが、この4月号が出るころには満開、ひょっとするともう散り始めているかもしれません。■10年前、東日本大震災が発生してから1か月後、地震と津波で大きな被害を被った宮城県石巻市を取材で訪れました。まだ、ほとんど手が付けられていない瓦礫の山の傍らで、辛うじて命拾いしたのでしょうか桜の木が花を咲かせていました。■それにしても忘れる間もなく、その後も全国各地で地震、洪水、台風など大きな災害が続いています。そしてその都度、多くの方々が大変な犠牲を強いられ、今なお苦しまれている現状があります。■本誌では、大災害に関連して、これまでも金光教の方による救援活動などを取り上げ、記事掲載させていただきました。これからも、各被災地の現状をお知らせし、金光教の人がどんな活動をされているのかなど、取材させていただければと思っています。また、このところ、各地で災害の犠牲者となった御霊様の慰霊祭や、慰霊の祈りも込めた活動などをレポートした投稿が寄せられています。これらと合わせて、順次記事掲載していきます。

■編集長：山本 徹

感謝をこめて、創業67周年



JQA-QM8989
本社: 保全事業部

ⓕ 北海道消防機材株式会社

HOKKAIDO FIRE-PROTECT EQUIPMENT
CONSTRUCTION COMPANY



FIGHT
FRIENDSHIP
FAITHFUL



わたしたちは豊富な経験と技術、そして信頼を財産とし、それぞれが消防設備のプロフェッショナルとして、業務に取り組んでいます。設計・施工とメンテナンスを中心に各部門がお互いに協力を惜まず、お客様の幅広い要望にお応えします。

連絡先

本社 / 〒060-0005 札幌市中央区北5条西20丁目2番3号

TEL 011-611-1551 Fax 011-611-1556 E-Mail: hokkaido@shobokizai.com

苫小牧営業所 / 〒053-0022 苫小牧市表町3丁目2番13号王子不動産第2ビル3F

TEL 0144-33-9151 FAX 0144-33-9152

室蘭営業所 / 〒050-0081 室蘭市目出町1丁目13-6 深田ビル2F

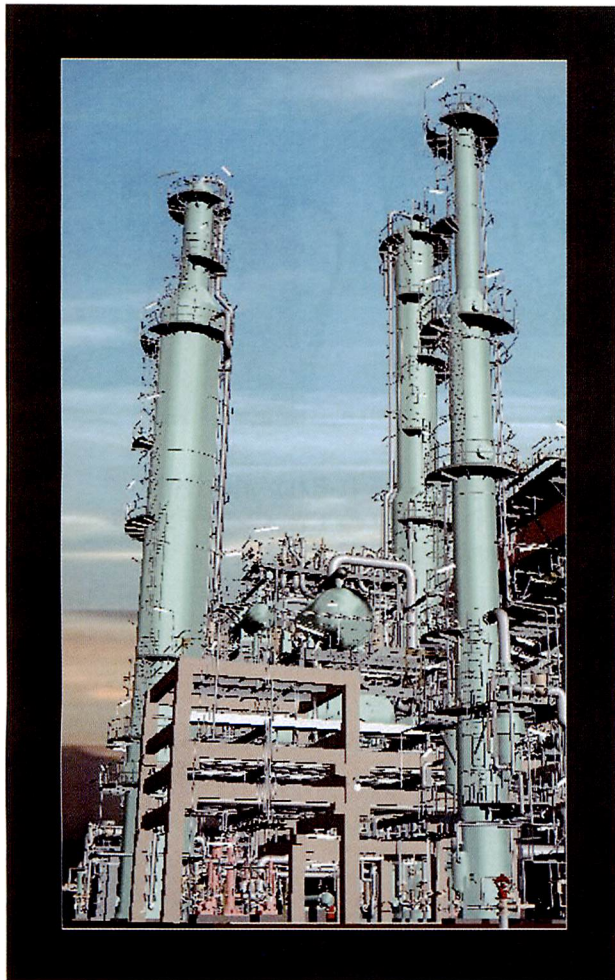
TEL 0143-44-2617 FAX 0143-44-2617

ホームページ: <http://www.shobokizai.com>



トータルプラントエンジニアリング
配管設計の専門会社

3次元CADによる 配管設計のパイオニア



新しいものに挑戦し続ける。
先進の技術がここにある。

Total Plant Engineering

トータルプラントエンジニアリング

辰星技研はプラントの幅広い分野において、**豊富な実績と経験**を元に、基本計画～詳細設計、SV現地派遣まで**一貫した配管エンジニアリング**でお応えします。

3D Survey Service

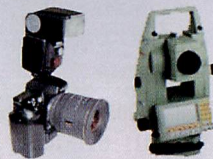
3次元計測サービス

最新技術の3次元計測により

不可能を可能に!!

早く、正確で、リアルな

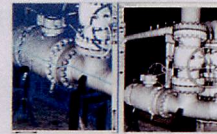
3次元CADモデルを構築し、お客様のニーズに応え続けます。



デジタルカメラと
トランシットによる写真計測法



レーザースキャナによる
点群データ取得



辰星技研株式会社

■東京本社 〒105-0003 東京都港区
西新橋2-9-1 PMO西新橋2F
TEL:03-3500-3568(☎)FAX:03-3500-3680

■大阪支店 〒553-0002 大阪市福島区
豊洲1-11-19 大阪福島セントラルビル3F
TEL:06-6442-7312(☎)FAX:06-6442-7313

■六ヶ所支店 〒039-3212 青森県上北郡
六ヶ所村大字尾敷字沖附4-71
TEL:0175-71-4210(☎)FAX:0175-71-4223